

教育委員会だより

わ わ わ

たがわ

人の輪

心の和

今年も開催
しました!

夏休み体験学習

第1回 家庭教育講座(着衣泳)

7月21日(月・祝)に第1回家庭教育講座を開催しました。水難学会指導員の中島 貴秋^{なかしま たかあき}さんを講師に迎え「予防しよう! 夏の事故」をテーマに講演と実技指導を行いました。講演では、家庭内の事故予防や水難事故への対応方法を説明。落水時には「浮いて待つ」ことの重要性や、身近な物を浮き輪の代わりに使用する方法を紹介しました。実技では、プールにて親子で着衣泳を体験。水中での動きにくさを実感し、身近な物で浮く方法も学びました。参加者からは「命の大切さを再認識する貴重な機会となった」と好評の声が寄せられました。



たがわトコナツKIDS

夏休み子ども体験学習事業として市内の小学生を対象に「たがわトコナツKIDS」を開催しました(1~4年生4回、5・6年生1回)。

参加した子どもたちは、英語を使った仲間づくりから始まり、人権学習やオリジナルテラリウム作り(5・6年生は蓮ワーク)、木工工作を楽しんだ後、最後に「コーディネーショントレーニング」体操などのレクリエーションを行い、活動を通して他校・他学年の児童と交流し、充実した1日を過ごしていました。今年からは中高生ボランティアも参加し、有意義な活動となりました。



カヌー体験教室

市内の小学4年生から6年生を対象に7月19日(土)、26日(土)の2日間で彦山川にて「カヌー体験教室」を開催しました。最初は怖がっていた児童も、みるみる上達し、楽しみながらカヌーに乗ることができていました。普段は体験することがない活動を通して、参加した友だちと充実したひとときを過ごしていました。



水泳教室

市内の小学1年生から3年生を対象に7月22日(火)から25日(金)までの4日間で「水泳教室」を開催しました。最初は水が怖くて顔がつけられなかった児童も、最終日には笑顔で元気よく泳ぐことができるようになるなど、とても充実した日々を過ごしていました。



NEWS!

「田川地区県立高等学校訪問」を実施しました!

7月8日(火)に市内の中学2年生を対象に「田川地区県立高等学校訪問」を実施しました。

訪問先は、田川地区(第11学区)にある4つの県立高校(田川高校・田川科学技術高校・東鷹高校・西田川高校)です。当日は、生徒が事前アンケートで希望した高校を訪問し、在校生との交流会や授業見学など、それぞれの学校で活動を行いました。

この取り組みはキャリア教育の一環として令和6年度から始まり、生徒が早い段階で各高校の特色を知り、自身の進路に対する目標や見通しを持つことを目的としています。

今後もこの取り組みを継続し、中学生の進路選択を応援するとともに、生徒が将来を考え、主体的に学び、目的を持って学校生活を送れるようサポートします。



ルールを守って
大切に使ってね♪

市内全小中学校の学習用 タブレット端末を更新しました!

本市では、情報社会を生き抜くために必要な「情報活用能力」の育成を目指し、令和2年度から市内の児童生徒へ学習用タブレット端末を貸し出しています。

導入から5年が経過し、機器の老朽化が進んでいるため、8月に新しいタブレッ

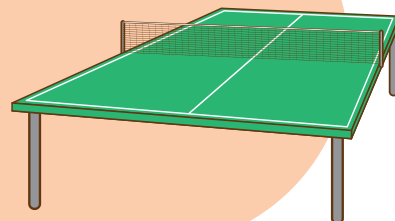
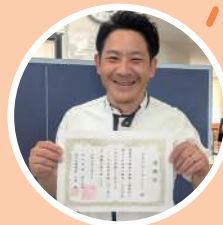
ト端末へ更新を行いました。

児童生徒がタブレット端末を活用し「自分の考えをまとめ、発表・実現する授業」「互いに学び合う授業」をより充実できるよう、今後も取り組んでいきます。

寄附ありがとうございます

7月3日(木)、よねだデイサービスから、猪位金学園に卓球台が寄附されました。いただいた卓球台は、猪位金学園で大切に使用します。

よねだ みのる
代表取締役 米田 稔 様



市石炭・歴史博物館

博物館で楽しく学びました!

夏休み Kidsイベント

レポート

夏休み期間中の土曜日(7月26日・8月2日・8月9日)に市石炭・歴史博物館で実施した「夏休みKidsイベント」を紹介します。

まが玉づくり

滑石を削ってみがいて作ります。一生懸命みがいて、つるんとした「まが玉」を持ち帰りました。

ナイトミュージアム

キャップランプの灯りを頼りに館内を見学して、暗い炭坑内を実感しました。

伊加利人形浄瑠璃体験

人形の使い方を教えてもらい、人形の頭の操作にチャレンジしました。

参加ありがとうございました! 来年もみんな
で楽しく学びましょう!



まが玉づくり



ナイトミュージアム



伊加利人形浄瑠璃体験

第41回 こども音楽祭

市内の保育園児や小・中・高・大学生などが、楽器演奏や吹奏楽など日頃の練習の成果を発表します。

時 **11月3日 月祝**
開場12時 開演12時30分

場 **田川文化センター大ホール**

申し込み不要
入場無料



文化生涯学習課 文化係 ☎44-5745

学校給食のひみつを のぞいてみよう!

食育とは?

食を通じて心と体の健やかな成長を促し、よりよい食生活を自ら選び、実践できる力を育てる教育のこと。地域の文化や地元の食材の大切さを理解することも含まれます。

田川市の食育のとりくみ

給食だより Vol.14 田川市学校給食に新しい「ご当地献立」が誕生しました。

令和7年5月15日、田川市の伝統行事「川渡り神幸祭」をイメージした新メニュー「神幸ライス」が、市内小中学校の給食で初めて提供されました。新メニューの登場に合わせて、田川小学校では「総合的な学習の時間」を活用し、食育授業の一環として、「食べて」地域の歴史や文化を学ぶ「ご当地献立」について学習しました。

学習の様子

食育授業は、田川小学校に在籍する3・4年生の児童を対象として、4校時にランチルームで行われました。ゲストティーチャーは、長年給食調理に携わってきた教育委員会の職員です。

田川市では、日本各地の郷土料理やご当地グルメ、更には世界各国の料理を給食で提供しています。その背景には、給食を通して様々な地域の文化や歴史を学んでほしいという栄養士の思いが込められています。

食育授業のなかでは、各地域にある特徴的な食文化から、歴史や地域の特徴を学ぶことの大切さについて説明がありました。

授業の最後には、福岡県ら大祭りのひとつである川渡り神幸祭をテーマにした新メニュー「神幸ライス」についても説明があり、歴史ある神幸祭について学ぶきっかけになりました。

授業のあとは、いよいよお楽しみのお神幸ライスが食べられる給食の時間です。

～学習の様子～



田川市のご当地献立は
どれでしょう?

給食時間



～神幸ライスの具を配膳する様子～

神幸ライスは「川渡り神幸祭」の「山笠のぼれん」をイメージした献立で、緑や白、赤の飾りを野菜で表現しています。そのため、ひき肉をベースに、ナスや玉ねぎ、パプリカ、ネギなどの彩り鮮やかな野菜が主役です。味付けは子どもたちの大好きなカレー風味で仕上げています。

配膳が終わり、いただきますの挨拶をして、みんなでいただきます。ご飯に具をかけると、鮮やかな野菜が「ぼれん」のようにパツと広がりました。

神幸ライスの味に児童たちは大満足で、教室からはたくさんの「おいしい!」の声が聞こえてくるなど、田川が誇る文化を「食べて」学んだ、大切な時間になりました。



本市の学校給食に「ご当地献立」があることを知っていますか? これは、「食べること」でふるさとを「学ぶこと」を目的とした給食で、「ボタ山カレー」「ホルモンなべ」「さくべえだんご」など他では食べられない、田川市オリジナルの「ご当地献立」があります。そして、新たに「神幸ライス」が誕生し、5月から市内小中学校の給食に登場しました。上の記事は、市ホームページにある「給食だより」で「神幸ライス」が提供された日を掲載したもので、その日は田川小学校で食育授業も行われました。

栄養教諭

栄養バランスのとれた献立の作成を行い、児童生徒の健康をサポートします!



調理員

徹底した衛生管理で安全・安心なおいしい給食をつくります!

それぞれの専門家が別の役割で給食を支えています!



誕生まで約1年かかった「神幸ライス」の試作の様子などは、市ホームページの「給食だよりVol.11」に掲載していますので、チェックしてみてください!

本市の給食は、栄養教諭・調理員たちが児童生徒のために、栄養・おいしさ・衛生を考え、献立を作成し各学校で「できたて」を提供しています。また、毎日の給食から食に興味を持ってもらい、食事をおいしく・楽しくたべてもらうために「食育」にも力をいれています!